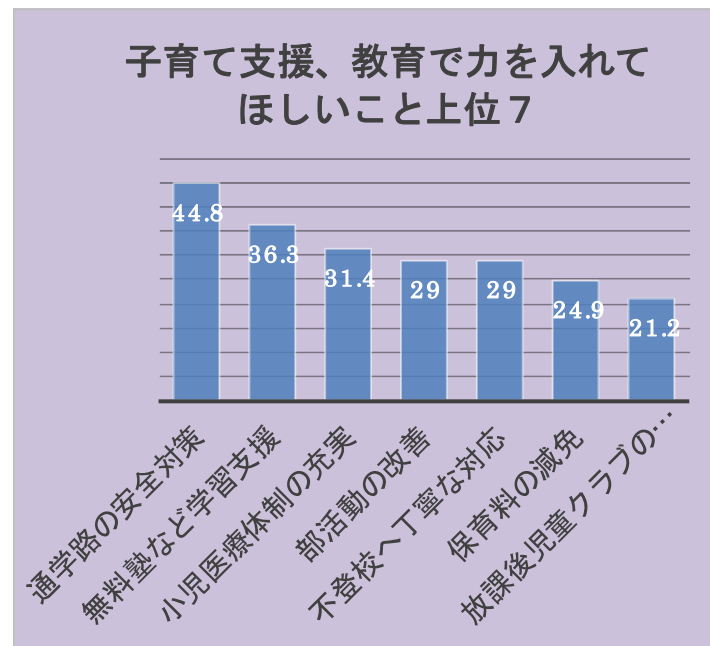
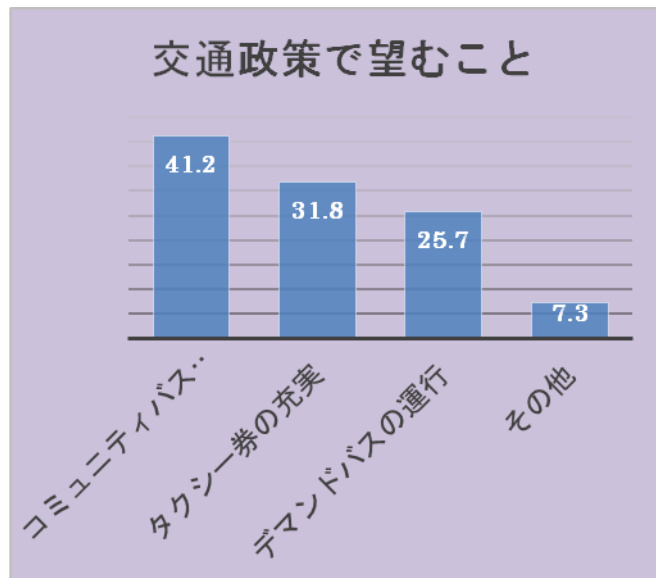
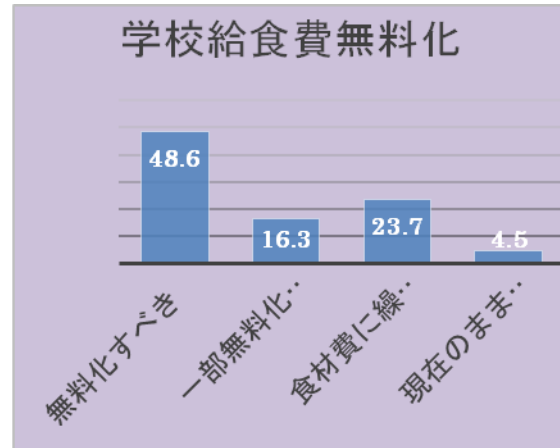
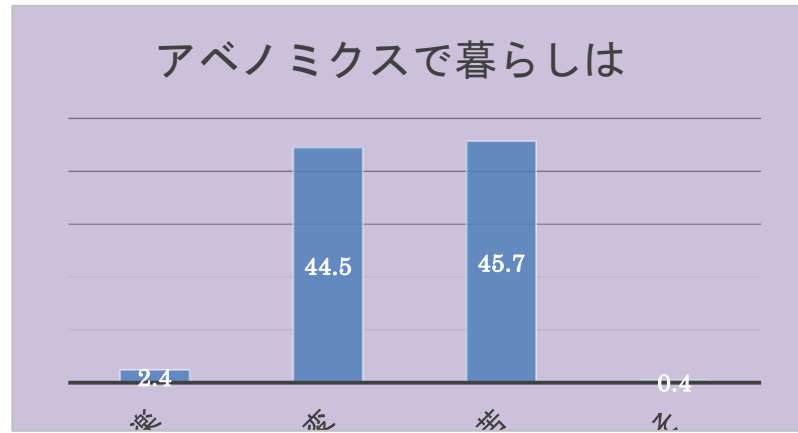


■ 市議団アンケートご協力ありがとうございました。集計をお知らせします。



アンケートによせられた声、ほんの一部です

- 高齢者の事故ばかりクローズアップ。確かに多少増加していると思うが、もう少し運転したい。病院へも買い物にも行けなくなるから。
- 非正規社員の待遇向上をのぞみます。15年以上同じ会社において、社員以上の仕事をしているのに非正規のまま。退職金もない…老後が心配です。
- 夏は子供を1回ぐらい海につれて行ってあげたかったので、親はここ数か月納豆ご飯。お昼の父親のお弁当は白米にレトルトカレーで節約。この先不安。
- 以前自分が給食費の滞納者の集金をしたことがありまして、母子家庭が多いのに驚きました。所得が低いので払いたくても払えない状態。そういった家庭の子供が学校でいじめられて登校拒否になった話を聞いて言葉が出ませんでした。子供のためにもぜひ無料化を。
- 年金暮らしになり日々の無駄をなくしてもこの先どうなるのか不安です。意見を言えない弱者にしわ寄せが来ないようみんなで平等に支えあえる世の中にしたいです。

よせられたご要望は、現場を確認し順次担当部署に伝えるなど対応中です。現地が確認できないものもあります。道路拡幅などは、私たちからも要望しますが、区長さん等を通じ地域の要望として市に要請していただくことも必要です。



新しく引き直された横断歩道

上がる介護保険料に悲鳴

期	最初の年度	介護保険料基準額	国民年金満額
1期	2000年度	33,900円/年	804,200円/年
3期	2006年度	51,700円	792,100円
4期	2009年度	51,700円	792,100円
6期	2015年度	70,900円	781,000円
7期案	2018年度	72,800円	779,300円

基金取り崩しで値上げをおさえて！

3年に一度改定される保険料を、来年度2.7%引き上げる計画が発表され、「年金が下がっているのに」と悲鳴があがっています。ためこんだ7億8千万円の介護保険の基金をすべてとりくずし、値上げをおさえるよう強く求めました。

「保険料減免・利用料助成の制度拡充を」と求めましたが、市長は「公平及び公正の観点から対象を拡大する考えは無い」と、意味不明の答弁でした。

高年齢者の負担は限界ですが、市長には庶民の苦しい懐ぐあいは分からないのでしょうか？

国が介護のために支出する社会保障給付費は、対GDP比で見ると2013年度から今年度まで1.9%で、全く変わっていません。

負担軽減を

倍以上になっていきます。1月には、計画案への市民の意見を聞くパブリックコメントが行われます。「介護保険料の値上げはやめて！」の声を寄せていきましょう。

来年度からの介護保険計画が発表され、基金の内4億円をとりくずし、基準額で2.7%、1,900円も増やしたと提案がありました。介護保険料は、すでに制度発足当時と比べ2

介護保険料、また上がるの?!

小学校英語科2時間より中学校英語の充実を

伊勢崎市では2013(平成25)年度より、小1から週1時間の英語科が導入されました。日本共産党議員団は、「国語・算数などの基礎的な学力を大切にすべき」と、反対しました。

同時に、「やるなら担任まかせでなく専門の先生を」と主張。外国語指導助手・英語指導助手を増員し、必ず担任と一緒に指導する体制がとられました。

文部科学省でさえ、ようやく2020(平成32)年度から、小5・小6で年40時間の英語科を正式教科にするという段階です。

ところが、「伊勢崎はさらに進んでいる」とばかりに、今年度は境東小・あずま小で週2時間にし、その後は全小学校に広げるといいます。読書や学力定着のための時間を削っての導入です。

英語科導入の効果をたずねましたが、「テストの結果には表れにくいですが、教師の感覚で中3で英語力が英検3級程度の子が平均より多いようだ」という確証の無い答弁です。「小さい頃から英語を習っても、中2段階では同程度の学力」という研究結果もあります。どうせ予算を掛けるなら、むしろ中学校英語の充実に戻すべきではないでしょうか？